



田ノ口小学校

「本気 根気 元気」

一生懸命はかっこいい

校長 濱田 俊二

◆はじめに

本年度は全校児童27人、教職員7人の3学級編成(2・3年生8名、4・5年生9名、6年生10名)で教育活動を進めています。

一昨年度より学校教育目標をわかりやすく、「本気 根気 元気」主体的に行動し、根気強く続け、元気で優しい児童の育成」とし、今年さらには子どもたちにも浸透するように「一生懸命はかっこいい」という文言を付け加え、「知」「徳」「体を柱として子どもたちの成長を支援すべく取り組んでいます。

◆安心安全な学校を目指して

「明日もまた来たいな」「今日1日楽しかったな」「友達と会えてうれしいな」田ノ口小学校は、「安心・安全な学校」をめざして取り組んでいます。

まずは子どもたちを危険から守ることです。災害はいつ起こるか分かりません。

私たちは「整理整頓は命を救う」をモットーに、子どもたちの身の回りを整えています。物が落ちてこないように、物が倒れてこないように、そして安全に身を守るように生活環境を整えています。地震からの揺れ、津波からの避難、いつでも自分の身を守るように訓練も行っています。

また、子どもたちにとって学校は学ぶところでもあり、遊ぶところでもありません。全校児童27名と少ないのですが、学年関係なく、みんなが仲良く遊びます。定期的に児童会がレクを計画し、全員で遊ぶこともあります。明日もまた来たいなど思える学校「田ノ口デイズニールランド」をめざしています。

◆田ノ口デイズニールランド

学校が楽しいところであってほしい、そんな願いから田ノ口デイズニールランドコーナーを設置しています。学校で楽しかったことをどんな紙に書いて貼っていくのです。「マラソンで新記録がでうれしかった」「選書会をして本を選んで楽しかった」「運動会、成功して

うれしかった」「南中ソーラオンをかつこよくおどれてよかったです」などのメッセージを壁に貼っていきます。楽しい声でいっぱいにしたいものです。

◆子どもたちの1日

子どもたちの1日は朝掃除から始まります。1班5〜6人の人数で黙々と掃除を行います。やさしい音楽の中、黙って掃除をします。職員室の前では、きゅっきゅつと上履きの音だけが聞こえます。朝の長休みには朝マラソンを行います。約1kmの距離を全員が走りまわります。津波被害から逃れる力は十分ついてきたと思います。



昼休みは自由にそれぞれがやりたいことをして遊んでいます。これまでの様子を見てみますと玄関でダンスをしたり、運動場でドッジボールをしたり、校庭の木に自分でつくったブランコに乗ったりして遊んでいます。思い思いに遊ぶ子どもたちの姿がよくみられます。

放課後には週3日、子どもたちの学力の定着を図るために「放課後学習」を行っています。PTAの予算で買っていただいた市販の問題集をそれぞれのペースで解いていきます。この時間は、子どもたちの学力の定着においても重要な時間になっています。

◆田ノ口小と上林暁

本校は上林暁の母校です。有名な私小説の作家です。暁さんの写真が校舎内に飾られています。高学年は総合的な学習でも上林暁を題材に学習しています。偉大な先輩のようにはいきませんが、読書好きな子どもたちが増えることを望んでいます。学校図書館を中心に、ろう下にも図書を並べ、新聞などを紹介しています。



毎年の選書会を開き、子どもたちのお気に入りの本を購入入しています。チャレンジング読書手帳を作り、難しい本にも挑戦してもらっています。今年度は家読書に力を入れています。

す。「いつでもどこでも読書生活」をモットーに、読書活動を進めています。

◆チャレンジ授業

研究主題を「主体的・対話的に学びあう児童の育成」とし、算数科を通して取り組むこととされています。



本校の特徴は、チャレンジ授業です。チャレンジ授業とは、校内研修の一つで、教科書の指導を超えた内容を扱い、子どもたちが主体的に考え、議論し合う授業です。指導者は、算数の授業の最後や単元の途中に授業を仕組んでいきます。普段見慣れない問題や身近なところから問題が出されることもあります。子どもたちは、悩みながらも何とかしようと考え、話し合います。ああでもない、こうでもないと考え、対立することもあります。教員も授業を参観しながら、子どもたちと問題を考えしていきます。普段の授業とは一味違った時間となっています。